

2022年度 関東高校水球 【戦評】

会場：千葉県国際総合水泳場

【2022/7/26】

この試合のプレー集計

準決勝

前橋商業

6	—	4
3	—	2
3	—	4
2	—	2
PSO		

12 秀明英光

審判：

荻野 浩明

菊池 龍志

前橋商業	24	SH数	38	秀明英光
	0	速攻数	3	
	15	ST・SB	13	
	11	SH・P誘発アシスト	11	
	59%	GK阻止率	7%	
5	EX反則数	5		

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

明大中野が棄権したため、準決勝唯一の対戦。勝者は決勝進出、敗者は第3位が決定する形。

1P

前橋商のDFが十分に機能しない序盤、秀明英光エース④米谷にボールを集める形で秀明英光ペース(7:41、5:58、2:46に④米谷が得点)。次第に前橋商もペースをつかみ、ピリオド後半に連続4得点。そのうち、⑤前田のタイミングのいいシュートが光った。このピリオドの最後は前橋商エース④齊藤がロングシュートを決めて、前橋商6-4秀明英光で終了。

2P

センターボールを取った前橋商がそのままリズムよく攻撃し、④齊藤がセンターから決めて追加点。さらに続けて秀明英光ボールをスチールしてから、センター位置で退水を奪って、そこを④齊藤が決めて完全に前橋商ペースに。このあたりからは前橋商のディフェンス対応が非常に機能する形となり、秀明英光シュートをブロックしてからの攻撃で⑤前田がセンター位置で決めて、第1ピリオド後半から前橋商が連続7得点で大きく秀明英光を引き離した。その後、前橋商もペースが鈍り、秀明英光④米谷(3:15)、③木下(2:32)が連続得点を返して、前橋商に追いつがる展開で前半を折り返した(前橋商9-6秀明英光)。

3P

前橋商はベンチ指示で攻め上がる人数を抑制し、手数をかけずに個人技で勝負する展開。秀明英光ボールをスチールしてからの秀明英光に守られている状態であったが、⑤前田が右サイドのやや遠い位置からGKを見透かしたループを決め、さらに個人技で④齊藤がセンターから決めてこのピリオドも優位に立った。しかし、個人技だけではその後の攻撃は続かず、中盤以降は秀明英光ペース。4:00には②六路木がセンターで決めると、後半は3連続得点して、ピリオド勝負は秀明英光側に。前橋商12-10秀明英光で第3ピリオド終了。

4P

秀明英光としては早い段階で得点して追い上げムードを形成したいところ。ニュートラルとなったセンターボールを奪った秀明英光だったが、シュートミス。逆に前橋商に攻撃を許し、退水を奪われてから⑤前田に決められて3点差に。さらに、またもやシュートミスから個人技で勝る前橋商④齊藤がセンターから決めて点差を開かれる展開。4点差となった前橋商は完全にゆったり試合を進める形で、その後の秀明英光を2点に抑えて、前橋商14-12秀明英光で終了した。

お互い点の取り合いとなったゲームで、両チームともにGKを含めたDF面で課題を残した。全国大会までにはそのあたりの改善を期待したい。